

令和7年度 第2回 岐阜県県民ふれあい会館評価員会議 議事録

日 時 令和8年3月10日(火)  
13:00～15:00  
場 所 OKBふれあい会館  
第1棟4階 409会議室

○出席者

【評価員】

大成 利広、岡田 泰子、小倉 康宏、渡辺 智成、高野 栄子、葭田 美香

【指定管理者】

ハックス(株)代表取締役 早川 知明、B-DOOコミュニケーションズ(株)代表取締役 金山良典、ふれあいファシリティズ 館長 金川 五朗、サランカホール支配人 嘉根 礼子、副館長(統括) 高田 光浩、副館長(事業担当) 矢崎 雅、他職員1名

【事務局(岐阜県文化創造課)】

管理調整監 増田久美子、文化施設係長、文化施設係担当

○議事概要(質疑応答・意見の概要)

令和6年度 第3四半期までの事業報告について

<評価員>

緊急連絡とはどういった内容があるか。また、対応方法は決まっているのか。

<指定管理者>

大雪の際、道に木が倒れているため撤去してほしい等の緊急連絡がある。この場合岐阜土木事務所の担当者に繋ぐなど、あらかじめ各所属が示すルールに沿って警備員が対応している。

<評価員>

夏休みに開催されるこどもおんがく塾について、受講者は多いか。

<指定管理者>

オルガン探検などの人気講座は希望者も多い。なるべく多くの方に参加していただくため、人気講座では人数を区切り、抽選で落とすことがないように分けて開催している。また、ミュージカルなどは指導者と子どもたちとがふれあいながら短時間でミュージカルを完成させなければならない関係で、人数は少なめで実施している。

<評価員>

駐車場の満車状況について、平日の10時ごろに来ると満車に近く、20～30分探すこともある。この状況は現在の工事が終われば多少解消するのか。

<指定管理者>

大規模改修により、一時的に50台分ほどが使用できなくなっている。工事が終わり、解放されれば多少解消されると見込んでいる。駐車場の増設は県にお願いしているが、現状、問題に対してひとつひとつ丁寧に対応しているところである。

<評価員>

もしかするとキャパシティがオーバーしているのではないかと感じる。この先もこの状態が続くのではないか。

<指定管理者>

令和7年度は長良川国際会議場が工事中であり、その分の利用者が増加している。来年度以降は通常利用が再開するため、一時的に流れてきた利用者が減るかもしれない。指定管理者としては、会議室は借りてほしいが、利用が集中すると駐車場が不足する面があるのが現状である。

令和8年度 事業計画について

<評価員>

企画が豊富でとてもよい。しかし、その反面駐車場の問題が必ず出てくる。最近駐車場の警備員がいないのは人件費の関係かと思われ、満車の際にはどこに停めたらよいのか案内を徹底してほしい。

事前に満車になる日は主催者に告知を依頼するなど、サービス面で対応できないか。

<指定管理者>

多数の来場者が見込まれる際は、HPで公共交通機関の利用をお願いするなど告知を行っている。また主催者に依頼し告知の協力を仰いでいる。

<評価員>

サラマンカホールの座席に、階段を降りる際につかまるもの（突起物など）がほしい。高齢者の転倒防止等のため検討いただきたい。

<指定管理者>

課題としては認識している。座椅子の形状上、床から伸びる形のものを設置することとなるが、仕様によっては音響に影響することも考えられる。

<評価員>

満車予測の案内についてHPでの掲載とのことだが、HPを見て来館される方も限られ

るため、SNS を活用するとよいのでは。

<評価員>

お手洗いの荷物用フックについて、対応いただけてありがたい。

トイレの入り口におむつ替えの場所など案内掲示が増えた印象がある。チケットセンターにて救命講習を受講した旨の掲示があるなど、安心して利用できる工夫が沢山あり、リピーターにつながると思われる。ぜひ継続してほしい。

<評価員>

サラマンカホールの規模（708席）だからこそできる企画の良さがある。今後も期待している。大人の課外授業と主催公演が関連して開催されているが、その相乗効果はどれくらいか。

<指定管理者>

統計をとっていないため効果について言及はできないが、コンサートを気に入ってくださる方々が講座も受講するのに加えて、講座そのものが好きな方々もおり、どちらかのみを楽しむ方も多し。講座などに興味をもって足を運んでもらい、ここを入り口に芸術文化の視野を広げてもらえたらと期待している。

<評価員>

14階はWi-Fiの環境がないと聞いた。14階も(大人の課外授業等での)主催者側の利便の為にも、環境を整えてもらえるとよい。

<指定管理者>

Wi-Fiについては県が4階会議室への設置を進めている。環境の更なる整備について、県と相談の上検討していく。

<評価員>

ホールのバルコニーの席を予約することもあるが、全体が見渡せて非常に良かった。

「バルコニーからも良い、サラマンカホール」という広報もできると感じた。

<指定管理者>

岐阜県の観光連盟で「岐阜旅ガイド」というサイトがあり、サラマンカホール取材いただいた。その際にバルコニー席が良いという話をさせてもらったところである。多くの人に知ってもらいたい。

<評価員>

和の衣装文化について、日本の伝統文化関係事業の規模が縮小する中で、文化施設で魅力を伝えてもらえるのは業界にとってありがたい。ぜひ今後も推進して欲しい。

サラマンカホールにおける企画について、クラシックに寄りすぎているのではないかと感じる。日本の古典の部分を増やしていくなど、よりたくさんの方が興味を持つような企画をされると良いのではないか。

<指定管理者>

現在展示中の各務原の航空の展示については、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館において展示していたものを一部お借りしている。県有施設を点ではなく面で知ってもらい、施設を相互利用してもらえたらと考えている。

<指定管理者>

古典を守っていくことの大切さは感じている。これまで日本舞踊や雅楽などの企画は1年に1度が限界ではあったが、今後バランスの見直しを検討する。

<事務局>

県と指定管理者との仕様書においてクラシックを中心とした企画をお願いしているところであるため、バランスの再検討については限界があるかもしれない。

<評価員>

クラシックを中心とする方針に異論はないが、事業計画をみるとクラシックとそれ以外の比率が9：1のように見えてしまう。この1の部分をもう少し広げても良いのではないかと考える。